

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：上小田中保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：須藤 由美子	定員（利用人数）：120名	
所在地：〒211-0053 川崎市中原区上小田中1丁目28番25号		
TEL：044-982-9215		
ホームページ： https://www.keiwa-kai.jp/kamikodanaka/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2014年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 けいわ会		
職員数	常勤職員：25名 非常勤職員：7名	
専門職員	（専門職の名称）：名 看護師：1名	
	保育士：25名 栄養士：3名	
	発達支援コーディネーター：3名 幼稚園教諭免許所持者：13名	
	調理師：2名	
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：0歳児室	（設備等） 設備：調理室
	居室：1歳児室	設備：調乳室
	居室：2歳児室	設備：遊戯室
	居室：3歳児室	設備：事務室
	居室：4歳児室	設備：医務室
	居室：5歳児室	設備：更衣室
	居室：一時保育室	設備：教材室
		設備：図書コーナー
		設備：みんなのトイレ
		設備：トイレ
	設備：テラス	
	設備：園庭	
	設備：エレベーター	

③理念・基本方針

<法人理念>

豊かな人間性をはぐくみ、明日につなぐ、心の声を聴き、信頼しあえるパートナー

<基本方針>

1. 保育所保育指針に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を増進するという役割を認識し、保育の目標・方法・環境等、計画的に工夫する。また、保育の知識、経験、技術を地域の子育て家庭や地域社会に貢献するという社会的責任も果たす

とともに、子ども一人一人の人格を尊重して、保育を行う。

- 「養護」は生命の保持と情緒の安定で構成され、「教育」は健康、人間関係、環境、言葉、表現の5領域から構成されている事を念頭に置き、養護と教育を一体的に行うよう意識して保育にあたる。
- 保育の質を保つため、保育の計画及び評価に重点を置く。
- 幼児教育を行う施設として共有すべき事項「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解し保育にあたる。

<保育目標>

1. 生き生きと生活し 遊ぶこども
2. 健康なこども
3. 意欲のあるこども
4. 感性豊かなこども

④施設・事業所の特徴的な取組

<上小田中保育園の特徴的な取組み>（基本情報I-3の記載事項）

- 家庭と同じように子どもが安心して過ごせるように、0歳児から2歳児までは育児担当制を導入している。
- 3歳児からは、サークルタイムを取り入れ、自分の気持ちを伝え相手の話を聞き、思いやりの心や自主性を育てている。
- 様々なカリキュラムの導入は、子ども達に多くの経験の中から、一つでも、好きなもの得意なものを見つけてほしいという思いで取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年06月05日（契約日） ～ 2023年10月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2016年度）

⑥総評

《社会福祉法人けいわ会 上小田中保育園の概要》

- 上小田中保育園は、社会福祉法人けいわ会（以下、法人という）の経営です。法人は昭和37年、東京都杉並区で読書グループ「青い実の会」からスタートし、昭和42年に無認可保育所を開設し、そして、昭和54年、社会福祉法人けいわ会として認可保育所を設立しました。以来、目覚ましく発展を遂げ、現在は、東京都に9園、川崎市に1園を経営し、法人理念を大切にして運営を実践しています。
- 上小田中保育園は、旧公立保育園の民営化により同じ園名にて平成26年に開設しました。園は、南武線武蔵新城駅から徒歩7分程度の住宅地の中に位置し、周辺は1戸建てを中心とする住宅及び新興のマンション等が開発された地域であり、マンションエリアには上小田中西公園、他自然が残った公園も点在しています。園舎は2階建てで、2階は乳児スペース（0歳児～2歳児）と大きなホールを設け、1階には幼児スペース（3歳児～5歳児）と一時保育室、厨房、図書コーナーがあります。また、広い園庭を有し、屋上にも園庭があり、伸び伸びと遊べる環境作りが成されています。また、園庭開放や絵本貸し出しを行い、地域の子育て家庭への支援も積極的に取り組んでいます。

◇特長や今後期待される点

1. 【育児担当制の採用と実施】

上小田中保育園では、法人系列全園で家庭と同じように子どもが安心して過ごせるよう、2歳児までは担当制保育を実施しています。一人の保育士が少人数の子どもを担当し、一人ひとりの子どもと信頼関係を構築し、きめ細やかな保育を提供しています。また、個々の成長に個人差が見られる場合や個別対応等、保育効果が期待できています。いつも決まった保育士が保育・身の回りの世話をすることで、様々な気づき、子どものSOSに気付くことができ、その子の成長ぶり等、より一層把握することが可能となります。何よりも、決まった保育士の保育等により、子どもの安心・安定を保障しています。

2. 【サークルタイムの実施】

上小田中保育園は、法人系列全園含め、3歳児～5歳児対象に「サークルタイム」を導入しています。3歳児～5歳児では社会性育成の重要性を鑑み、友だち関係が芽生えて来た成長を見逃さず、自然な形で友だち関係ができる、友だちを思いやる心、助け合う心を育むよう、「サークルタイム」を取り入れています。「サークルタイム」では、子どもたちが輪になって座り、互いに一人ひとりの顔を見ながら対話や意見交換を行い、保育士は温かく見守りながら成長を見届けています。さらに、「嬉しかったこと」、「悲しかったこと」、「やってみたいこと」等、自分の気持ちを伝えるだけではなく、他児の話も聴くことで、自己表現やコミュニケーションを育み、自分とは違う考えや経験に触れ、協力、共感の大切さを学ぶ機会を提供しています。

3. 【食育への取り組み】

子どもたちが健康に成長するために「食事」を大切にしています。子どもたちの保育園在園期間は味覚が形成される大切な時期と捉え、出汁は昆布や鰹節でしっかりと取り、旬の素材を多く使用し、確かな味覚が育つよう、味わい深い豊かな給食を提供しています。食育の第一歩は「今日の給食は何か」から始まり、食への興味から食への意欲につなげ、健康な体を作り上げるよう力を入れています。園では、食育を日々の取り組みとして取り入れ、「食べる意欲を持ってもらう」ことに重点を置き、様々な活動（野菜の栽培や年齢に応じた調理体験等）を実施しています。また、園庭で季節の野菜を栽培し、収穫した野菜を給食に取り入れることで苦手な野菜も食べられるようになり、調理体験ではカレー、うどん、蒸しパン、クッキー作り等を行い、楽しい体験から料理の興味につなげています。栄養教室では身体を作る栄養等について栄養士から学び、また、食事のマナー教室を開催し、「いただきます」「ごちそうさま」の意味や、箸の使い方、食事の姿勢等を知り、吸収しています。食事を通して子どもたちの元気な体作りは保育園の1つの使命と考え、取り組んでいます。

4. 【様々なカリキュラムの導入】

子どもたちに、多くの経験の中から、1つでも多く得意なものを見つけてもらえるよう、豊富なカリキュラムを提供しています。基本的に外部から講師（体操・英語・リトミック・科学）を招くことを原則とし、子どもと一緒に保育士も学び、一人ひとりの保育に幅を持たせることも視野に入れて進めています。体操教室では、様々な運動遊びに興味を広げ、多種多様な運動ができるようになることに加え、集団での決まりやルールを覚えています。英語教室では、言葉、ゲーム、歌を通じて異文化に触れ、リトミック教室では、楽器、リズム遊びを通じて表現力やリズム感、協調性を育み、科学遊び教室では、たくさんの不思議を体験しています。この多くの学び・経験が子どもたちを大きく育てると考え、力を入れています。

5. 【ボランティアの取組について】

園は、公立認可保育所からの移管であり、学校教育に協力し中学校の体験学習や高校生のインターンシップの受入れを行うと共に、一般のボランティアの受入れ実績も過去にありましたが、コロナ禍により現状、一般ボランティアとは希薄の状況です。体験学習等については、でき得る限り受入れを考えていますが、十分とは言い難い状態です。今後、ボランティア等の活用が以前の状態に戻るよう努力を希望します。さらに、ボランティア受入れに関する基本姿勢、地域の学校教育等への協力について基本姿勢の明文化が求められます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 社会福祉法人けいわ会 上小田中保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取り組みの感想》

施設運営に対する客観的な評価を得られたことで、結果を真摯に受け止め、課題や問題点を職員全員で共有し、さらなる向上に努めていきたいと思えます。

《評価後取り組んだ事として》

1. 保護者役員会に参加し、保護者会を負担に感じている方がいることを知らせた。今後、役員会の議題に挙げていくとのこと。
2. 防犯面での評価から、自動ドア入口に警察立寄所のステッカーを貼り、保護者へ周知した。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり